

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	<a href="http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/">http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/</a>		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (S53. 4. 25)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	施設所管課	都市公園課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>公園資源や地域との連携による数多くのイベントや多彩なメニューによるイベントにより利用促進が図られており、利用者の広がりや目標値以上の利用者数が得られている一方で、利用過多による芝生の裸地化の進行や樹林地管理の在り方も考慮した公園施設の適正な利用と管理について、一層の取組みを期待したい。</p> <p>また、収支状況を的確に把握し、報告や必要手続を遅滞なく行うこと、利用者ニーズの維持管理運営への反映、維持管理運営に対する公園利用者や周辺住民等との合意形成についても確実に進めてほしい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 ・概ね提案に基づく事業を実施し、利用者の事故防止や園内の景観維持に積極的な取組んでいるが、今後、実施に向けた検討や内容の向上が必要なものも認められる。</p> <p>◆利用状況 ・公園の特質や日常生活を豊かにするイベントを積極的に開催する等の利用促進に努めた結果、利用者数は、目標達成率106%となり、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 ・昨年度同様、90%を超える高い満足度が得られ、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 ・収支計画額に比して、実績額では約72万円の支出増(収支比率98.65%)のためB評価となっているが、利用促進により販売する図鑑やグッズ販売、イベント実施時の参加料により不足分を補い、収支は均衡(100.3%)している。 ・駐車場料金徴収の人件費、夏季夜間警備費の増額により、計画額の20%を超える流用の手続きに遅滞が生じたほか、月毎の収支報告については、経理処理の遅れにより提出期限までに提出がされなかった。</p> <p>◆苦情・要望等 ・公園利用以外の長時間駐車に対する指導について苦情が寄せられたことから、利用指導を徹底した。</p> <p>◆事故・不祥事等 ・該当なし。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 ・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 ・平成27年度の3項目評価については、A評価とした。利用者ニーズへのきめ細かな対応や自然環境の中長期的な保全について、継続発展的に取組みを進めることが望まれる。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	<p>① 4～3月 ② 12月</p>	<p>① 経理処理の遅れにより収支報告が大幅に遅滞 ② 計画時の計上漏れに伴う費目間の大幅流用の調整に日時を要したため収支計画の変更が大幅に遅滞</p>
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2～3回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	指導・改善勧告等の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	苦情要望に伴う駐車場の利用・管理運営の改善策の検討及び報告

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
歴史・文化・自然等を教材として活用した学習の機会創出	公園資源を活用したイベント163回のうち、体験学習系のイベントは54回(約33%)を数える。また、市教育委員会との連携も見られた。	多彩で参加者のレベルに応じた多様な学習機会の提供を、今後も積極的に進めて欲しい。
地域交流・多世代間交流の拠点づくり	連続講座を32回/年開催、自治会の自主防災訓練と連動した防災フェアの実施、県内の市民活動報告会において取り組みの紹介をした。	公園利用と地域防災力向上を促す拠点づくりへの積極的な取り組みの継続が望まれる。
多自然化。生物多様性に寄与する維持管理	池護岸の多孔質空間づくり、草地の維持、シラカシ林内の林床整理を進めた。	樹林の林齢更新や在来種の育成等への取り組みの拡大が望まれる。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
有料駐車場事業により利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
利用者特性や季節特性、利用者ニーズに応える自販機の更新・改訂及び新規設置を行う。	自販機の更新・改訂は行っているものの、新規設置は検討中である。(次年度に予定)
「野鳥」と「草花」を継続して販売、「樹木」を作成し販売する。	企画中であり、新規のフィールドガイド(樹木)の発行に至っていない。(次年度に予定)
公園関連グッズの継続販売、新グッズの企画と試作、一部販売を開始、ハチミツのオリジナルグッズの販売を企画立案する。	従前からの公園グッズは継続して販売しているが、種子やハチミツのオリジナルグッズの販売に至っていない。

#### 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	359,565	374,316	373,795
対前年度比		104.1%	99.9%
目標値	341,996	359,565	350,000
目標達成率	105.1%	104.1%	106.8%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：平成18～20年度実績平均の95%  
平成27年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法(対象)： 駐車台数から推計

[ 参考：最大利用可能人数/年 ]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者が高い満足度を得ている。

[ 施設としての総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 162 / 162 = 100.0%

配布(サンプル)対象

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	111	42	3	0	156	あまりいじらないで 良い感じがする
回答率	71.2%	26.9%	1.9%			
前年度の 回答数	128	47	2	0	177	
前年度回答率	72.3%	26.6%	1.1%			
回答率の 対前年度比	98.4%	101.4%	170.2%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 162 / 162 = 100.0%

配布(サンプル)対象

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	49	11	0	0	60	ゴミなどありません でした
回答率	81.7%	18.3%				
前年度の 回答数	90	22	0	0	112	
前年度回答率	80.4%	19.6%				
回答率の 対前年度比	101.6%	93.3%	#VALUE!	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[ 参考：その他 ]

--

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
B	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	44,466	0	6,060	駐車場6,060	50,526	50,526	0	100.00%
	決算	44,466	0	5,418	駐車場5,418	49,884	51,558	-1,674	96.75%
前年度	当初予算	45,736	0	6,291	駐車場6,291	52,027	52,027	0	100.00%
	決算	45,736	0	5,935	駐車場5,935	51,671	53,377	-1,706	96.80%
27年度	当初予算	45,924	0	8,169	駐車場5,842 自販機2,327	54,093	54,093	0	100.00%
	決算	45,984	0	8,639	駐車場6,367 自販機2,272	54,623	55,368	-745	98.65%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)  
27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>  
利用促進事業として行った、図鑑やグッズの販売による収益：189千円、イベント参加料：696千円により、マイナス収支：745千円を補っている。(収入：55,508千円/支出：55,368千円=100.3%)

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
12月	688	屋外ソーラー時計盤の交換：688千円

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上 )

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	手紙 1件	駐車場に社用車が長時間駐車し、公園利用のための駐車ができない。	利用実態調査に基づく利用指導と場内掲示により、公園利用以外の長時間駐車排除を周知、県に報告を行った。
	件		
職員対応	封書 1件	依然として社用車が多数駐車しており見過ごしている。利用指導に偏りがある。	頻繁に利用実態を把握し、該当車両への張り紙、声掛けを確実に実施、県に報告を行った。
	件		
事業内容	件	(該当無)	
その他	件	(該当無)	
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
なし			

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。